

## ◇卒業生のページ◇

### 花 の S E 雑 感

畑 敬 子

如何なる職業にしろ、新たな知識を自分のものと出来る限り、楽しいと言って良いのではなからうか。入社当初の講習会、あの時程熱心に、学生時代を過していたら末は博士間違い無しと、今も確信している程に勉強したと言える。アルファベットすら知らない外国語風の単語で日常生活とは掛け離れた理論だけで捏ね上げた忍術を教え込まれる毎日。「何故」と言う疑問を持つことさえ許されず、何はともあれ1日8時間詰込まれた何物かを、そのままの型で持ち帰り貯わえること2ヶ月余。頭の中に大きなマトリックスが出来上った頃には「経験2年のベテランです」と先輩に引き連れられてユーザへ。嗚呼お先真暗。我社の機械だけでも数種類、その上他社の物まで使う大型ユーザ。こちらはと言えば、新米も良いところ。1機種について講習を受けただけだし、それだって頭に理論のマトリックスを作っただけ。実際には使ったこと無いんだよ。多勢に無勢、その上女性と言う物珍らしさで、講習会でも開こうものなら、暇潰しにユーザがぞろぞろ。泣けて来ること頻り。何が何だか解らず半年。続く1年は機械にこき使われる。この頃までは必死の形相。2年経た頃から、やっと機械と四つに組んで一仕事。会社にとっては機械様々。機械稼働時間に初まり温度・湿度は言うに及ばず。よって人間は、夏は長袖の上着、冬は半袖シャツでお仕え申すと成る次第。時に鎮座しました所がお気に召さぬとあらば、機械の裏蓋を開いて扇風機で冷やし、御機嫌如何なりやとおっかなびっくり。女性は徹夜が出来ないからと、帰宅途中のタクシーの中で放送終了の君が代を聞き、翌朝一番電車で駆け付ける。3年目も終りの頃は、どうにか、こんな事やらせてみようかと余裕が出て来てヤレヤレ。ちょっと待てよ。我思うに、如何にメーカ、機種が変わろうと、所詮基本的構造は同じ。となると電算機の神話なんてものは、まったくの嘘っぱち。人間てのは何とでっち上げることの上手な怪物なのか。電算機自体は巨大なる怪物でも何でもなく、いとも素直な奴隷だと言うのに。かくて5年。我が手段とは成り得ても、目的とは成り得ない電算機に別れを告げる。目下主婦業1年。第三者としてマスコミに載る素人向け電算機情報に接する時、多くの認識の誤を発見する。電算機は能動態の主語には成り得ないのである。もしも、電算機使用上で問題が起るとすれば、それは飽くま

で人間側のモラルの問題である。電算機の中で同じ処理手続を通して出て来る結果でも、情報として入れるデータの量と質により、又逆に、同じ量と質の情報を入れた場合でも、処理手続の精度により、大いに異なる結果を生ずる。時には正反対の結果さえ生むのである。覚えておいて欲しい。電算機は意志も、モラルも持たないことを。人間が指示した通りに働くだけである。国民総背番号制に成ろうとも、国民凡てが電算機を知る必要はない。ただ、どういう情報を入力し、出力された結果をどう使っているのかと言う点だけは、目を光らせて見て行くべきである。集められた情報と言うのは、電算機に係わり無く、それだけで充分意味があるのだから。(16回生)

## 屋根裏部屋の人生

寺沢 綺佐子

フランス映画でパリの街並が登場すると、そこにはいつも7~8階建のアパルトマンがずらりと立ち並んでいる窓にはそれぞれにバルコンがついていて、白い紗のようなカーテンが掛かっている。その7~8階のずっとずっと上の方、てっぺんには、小さな90×50cmくらいの窓が斜めに、つまり太陽の方向に向けて斜めにとりつけられている。この窓は屋根裏部屋の窓である。昔は、これは女中さんの部屋として使われていたもので、大抵は2×3mくらいのものであるからベッドと小さい机と椅子を置けば満員になる。しかし、時代がかわって、現在は、これらの屋根裏部屋は外国留学生の下宿に活用されている。つまりお金のない外国人学生が、わずか200F(1万2,000円前後)くらいの部屋代を払ってここを借りて住むのである。水道は廊下のはじ、洗面所は共通。

私も最初の頃、ソルボンヌの学生だった頃には、こうした屋根裏を借りていた。運良く隣の2部屋続きの屋根裏部屋にフランス人の若夫婦が住んでいて、シャワーをいつでも貸してくれた。

私の小さい部屋からは、夕陽の沈むのが毎日、それはそれは美しく眺められた。オレンジ色、バラ色、うすい桃色へと変化する有様を、飽きずに、窓枠により掛かって眺めた。時折、私は外から自分の部屋の窓を見上げた。しかし、それは8階の小さい小さい窓。誰も気付かないてっぺんの小さい窓。でも、夕方、陽を受けてキラキラと輝やっていた。

部屋の壁に私はイブモンタンの大きな写真を貼った。その部屋を去る時、私はこの写真を残した。その屋根裏部屋を私に貸してくれたマダムのところへはその後もしばしば訪れた。そのたびに、こ